

別冊 Goods Pro
世界の本格腕時計
グッスプレス特別編
TOKUMA SHOT
定価 1300

TIME SCENE

VOL. 12

すべてを表現する
総合時計
文化誌

WATCH SPECIAL



時計師の語り
時のアーティスト、
F.P.ジュルヌの
世界

175年の熟成
進化した最新工房
ユリス・ナルダンの
現在
フランスを代表する
時計と天文の街
ブザンソンへ

W.P.H.H.
第三の波、到来
フランク・ミュラーなど
計9ブランドが集う
ウォッチランド

ジュネーブ
独立系ブランド
展示会
リシャール・ミル、ドゥペトウーン…
我が道を切り拓く
独立ブランドたち

時計会社の
独自性が際立つ
「個性派時代」の到来!

2008

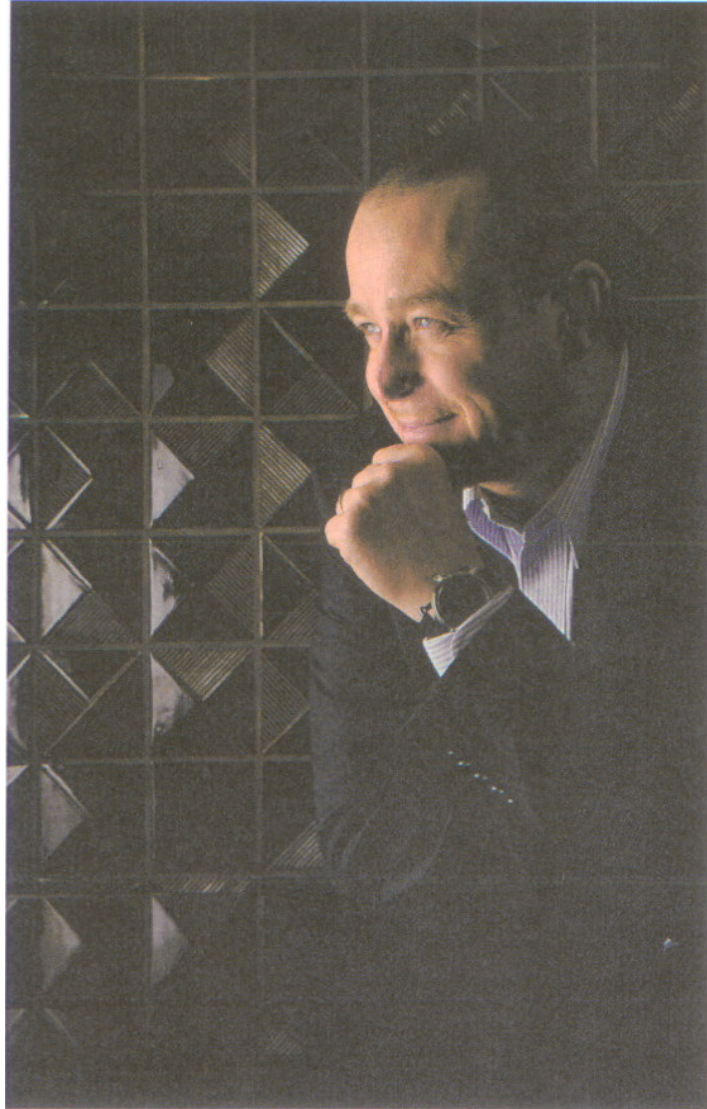
バーゼル&ジュネーブ 最新時計完全紹介

Peter Speake-Marin

ピーター・スピーク・マリン
[独立時計師]

40歳を迎えたその日、
東京の展示会において
自製キャリバー始動を宣言!

Photo: Kazuyuki Takahashi (PACO)
Interviewer: Masaharu Nabata



1968年、イギリス生まれ。「去年は一所懸命セールスの旅をしたから、今年はちょっとスローダウン。今度、新たに出るブランドのコンサルタントをして、そのギャラでムーブメントを作りました。これでコンサルタントの仕事は終了。自作キャリバーに注力します」



立体的で精緻な蒔絵で描かれた虎は、加賀蒔絵職人・山崎夢舟氏の作品。蒔絵にはあわび貝があらわれている。自動巻き。18KPG。直径38.0mm。3気圧防水。829万5000円。◎東邦時計☎03-5807-8162

今

年の2月6日。この日、40歳の誕生日を迎えた時計師スピーク・マリンは、東京銀座の時計店「M&R」で新作展示会を開催した。

「今年はずいぶん出展しないし、ちょっと自分の誕生日だったので、できれば日本で新作を発表したいと思ったのです」

新コレクションの名称は「シー&ストーン」。海と石にまつわるダイアルが大きな特徴となっている。

「このコレクションには約25種類のダイアルがあり、今後、年に何本か加えられていきます。使っているのはアンモナイトの化石、マザー・オブ・パール、オニキス、アパロン（あわび貝）など、どれも自然のマテリアル。テーマは海で、時絵も含まれています。ほら、亀が描かれているでしょう？」

で、その他は限定各6点。なぜなら私が2月6日生まれ。だから6なのです」

もちろん、このようなファンシーなダイアルも素敵だが、ピーターにとつての最大の課題は、専用キャリバーの開発ではないのか。実は数年前、その計画を知らされたが進行状況はどうなのだろうか？

「そう、自前のキャリバーですね。2年前から開発していますが、先頃、ついに最初の試作品が完成しました。そこで、これから6カ月かけてテストに入ります。それが順調にいけば2009年の3月から4月には発表できるはず。そうなれば完成品に徐々に搭載していく予定です。もちろん設計はすべて私自身。ブリッジもカナも石も全部、新しい独自設計ですし、今後、同じようなものは市場に出て来ないと思います。」

仕様は自動巻きで、手巻きにも変更可能。直径32・2mm、厚さ6mm。パワーステップは80時間でシングルパレル。特徴は歯車とテンブが大きくて、高精度なこと。デザインも特別で、緩急針はダブル。ルビーが大きく、すべてのブリッジはジャーマンシル

バーを使い、ブルースチールのピスで固定されます。ムーブメント自体が6mmと結構厚みがあるのでブリッジに段差をつけ、立体的になっています。また、ガンギ車のブリッジだけが別体で外せて、スワンネック緩急針は両面から調整できます。この構造は特許申請中。直径11mmの大型テンブには内側に4個のマスロットとブレイクヒゲを装備します。そして基本はセンターセコンドですが、9時位置にスモールセコンドをつけることも可能。またビッグデイトや複雑機能も追加できます。巻き上げ時の逆転防止には大きく溝が深いラチェット・ギアと板バネを採用して安定性を高め、独特の巻き上げ感とサウンドが楽しめます。このオリジナル・キャリバーの生産数は年に300本程度になるでしょう」

なんと、すでにかなり具体的な仕様も決まっています。非常に驚き。「今後も誕生日には日本に来ます。新しいムーブメントは、そのとき紹介できるかも。いや、2月はさすがに無理。4月になるかもしれません。待っていてください」